

「生ける水の川が流れ出る。」 ヨハネ7章37～46節

ヨハネ4章にあるサマリヤの女性に話しかけるイエス様の配慮と愛は麗しいものです。「主はその御目をもって全地を隅々まで見渡し、その心が自分と全く一つになっている人々に御力を現してください。」(Ⅱ歴代誌16・9)とあるように、この女性の嘆き、訴え、神への切望を聞いてくださったのです。

5人の夫から離縁され、或は死に別れ、6人目の男性は同棲ということでしょうか。何度も結婚するということは女性としては魅力的だったのでしょうか。離縁或は死別ということは不運・不幸です。その上、現在一緒に暮らしている男性からは虐待られている様子です。同性からも、町の人からも差別され、人の来ない真昼に水を汲みに来ます。サマリヤ人から相手にされないのに、ユダヤ人から「水を飲ませてください。」(ヨハネ4・7)と頼まれて驚きます。汚れているとユダヤ人から差別されているサマリヤ人なので。差別され、侮辱され、虐待られて生きているこの女性に、まともに話しかける人はいなかったのです。

イエス様は、「もしあなたが神の賜物を知り、また、水を飲ませていただいとあなたに言っているのがだれなのかを知っていたら、あなたのほうからその人に求めていたでしょう。そして、その人はあなたに生ける水を与えたことでしょう。」(4・10)と語ります。

① 神の賜物

② イエス様がどういう方なのか。

③ 生ける水

「神の賜物」とは、神の祝福であり、プレゼントです。この女性が真摯に神を求めて暮らしてきた褒美であり、神は差別されないことの印です。多くの方が、「私などに、わたしなんて」と、褒められることや、愛されることを予想していません。しかし、神は賜物をくださる方として生きているのです。

「イエス様」は神の子で最も高い存在なのに、わざわざサマリヤの女性の神への訴えを聞いて訪れてくださる愛情に富んだお方です。この方に語り掛けられたのです。

「生ける水」は、「その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。」(14)。

彼女は、神への疑問を持っていました。彼女は、サマリヤ人なので、エルサレムの神殿に行くことはできません。ゲリジム山で礼拝を献げて

いましたが、ユダヤ人は、それは正しい礼拝所ではないと否定していません。でも、彼女は、神に真摯に祈り、神の律法を守ろうとしているのに、不幸になるばかりで、それは自分が間違っているからなのかと問うのです。

イエス様は、「神を礼拝する人は、御霊と真理によって礼拝しなければなりません。」(24)と答えます。「父は、そのような(礼拝する)人たちを、ご自分を礼拝する者として求めておられるのです。」(23)。

今日の聖句は、「イエスは立ち上がり、大きな声で言われた。『だれでも渴いているなら、わたしのものに来て飲みなさい。』(37)というイエス様の叫びです。イエス様は、仮庵の祭りという、エジプトから逃れたことを覚えて神に感謝する祭りの形骸化を嘆いて叫ぶのです。真摯な信仰がなくなっていることを警告するのです。

「わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになります。」(38)と叫ばれるように、「自分を信じる者が受けること」になる御霊について、こう言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったので、御霊はまだ下っていないのであったのである。」(39)

生ける水の川が信者の心の奥底から流れ出る聖霊の激しい働きを体験するには、聖霊のバプテスマが必要です。しかし、たとえ、聖霊のバプテスマを一度受けても、信仰を形骸化すれば、生ける水の川は流れ出しません。

先週は「聖霊に満たされる」ことは、平凡かつ誠実な「みことばに従い、良き行いをする中で御霊の実を実らせていくことである」とお話ししました。しかし、満たされて、流れ出し、人々に感化を与えていくことは、「生ける水の川が流れ出る」ことであり、もつとダイナミックなことです。

祈りの時間のアンケートを取っていますが、数分というのとはかき短すぎます。ひざまずき、目をつぶって祈る時間のことなのでしょう。私は、目を開け、仕事をしながら、歩きながら、運転をしながら異言で祈っています。異言の祈りは、水槽の泡のようで、泡が出ないと酸欠状態になり、魚は死んでしまいます。異言の祈りが足りないと、私は平安がなくなり、イライラし、知恵が足りなくなります。そして、思考が内向きになり、いのちにあふれた行動ができなくなります。聖書は、「**絶えず祈りなさい。**」(Ⅰテサロニケ5・17)と言っています。

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

【新改訳 2017】

ヨハネ 7:37 さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立ち上がり、大きな声で言われた。「だれでも渴いているなら、わたしのもつて来て飲みなさい。

7:38 わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになります。」

7:39 イエスは、ご自分を信じる者が受けることになる御霊について、こう言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったので、御霊はまだ下っていなかったのである。

7:40 このことばを聞いて、群衆の中には、「この方は、確かにあの預言者だ」と言う人たちがいた。

7:41 別の人たちは「この方はキリストだ」と言った。しかし、このように言う人たちもいた。「キリストはガリラヤから出るだろうか。

7:42 キリストはダビデの子孫から、ダビデがいた村、ベツレヘムから出ると、聖書は言っているではないか。」

7:43 こうして、イエスのことで群衆の間に分裂が生じた。

7:44 彼らの中にはイエスを捕らえたいと思う人たちもいたが、だれもイエスに手をかける者はいなかった。

7:45 さて、祭司長たちとパリサイ人たちは、下役たちが自分たちのところに戻って来たとき、彼らに言った。「なぜあの人を連れて来なかったのか。」

7:46 下役たちは答えた。「これまで、あの人のように話した人はいませんでした。」

【NKJV】

Joh 7:37 On the last day, that great day of the feast, Jesus stood and cried out, saying, "If anyone thirsts, let him come to Me and drink.

7:38 "He who believes in Me, as the Scripture has said, out of his heart will flow rivers of living water."

7:39 But this He spoke concerning the Spirit, whom those believing in Him would receive; for the Holy Spirit was not yet given, because Jesus was not yet glorified.

7:40 Therefore many from the crowd, when they heard this saying, said, "Truly this is the Prophet."

7:41 Others said, "This is the Christ." But some said, "Will the Christ come out of Galilee?"

7:42 "Has not the Scripture said that the Christ comes from the seed of David and from the town of Bethlehem, where David was?"

7:43 So there was a division among the people because of Him.

7:44 Now some of them wanted to take Him, but no one laid hands on Him.

7:45 Then the officers came to the chief priests and Pharisees, who said to them, "Why have you not brought Him?"

7:46 The officers answered, "No man ever spoke like this Man!"